

日程第8．議案第35号 平成27年度南風原町一般会計補正予算（第2号）

○議長 宮城清政君 日程第8．議案第35号 平成27年度南風原町一般会計補正予算（第2号）についてを議題とします。まず、提出者から提案理由の説明を求めます。副町長。

○副町長 国吉真章君 議案第35号 平成27年度南風原町一般会計補正予算（第2号）平成27年度南風原町の一般会計補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。（歳入歳出予算の補正）第1条 歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ4,019万7,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ129億8,673万6,000円とする。2項 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。その内容等については、担当から説明させていただきます。

○議長 宮城清政君 総務部長。

○総務部長 新垣吉紀君 議案第35号 平成27年度南風原町一般会計補正予算（第2号）につきまして、概要説明をいたします。まず2ページ「第1表 歳入歳出予算補正」についてでございますが、今回の補正は、新たな状況の変化への対応により補正の必要が生じたので、歳入歳出それぞれ4,019万7,000円を減額し、補正後の一般会計予算額は129億8,673万6,000円となります。補正減額4,019万7,000円の内容につきましては、6ページ以降の事項別明細からご説明します。

続きまして、6ページをお願いいたします。14款2項1目．総務費県補助金8,457万7,000円減は、沖縄振興特別推進交付金を活用し実施予定の地域農業活性化事業において、一部、県の補助事業対象となることから8,513万9,000円減、環境の杜ふれあい周辺の公園整備予定箇所に「伊武志川原古墓群」があり、磁気探査を行うための磁気探査支援事業補助金56万2,000円増によるものです。なお、同補助金の補助率は95パーセントとなっております。4目．農林水産業費県補助金4,963万2,000円の増は、農産物の加工・販売を農家自らが行うために必要な機材購入のための農業・農村の6次産業化支援事業補助金200万円、先ほど1目で説明しました県の補助対象となるキュウリ農家の強化型パイプハウス設置に対して補助をする高生産性農業用機械施設導入費補助金4,763万2,000円増によるものです。補助率は農業・農村の第6次産業化支援事業補助金が2分の1、高生産性農業用機械施設導入費補助金が75パーセントとなっております。

7ページ。16款1項12目．ふるさと寄付金24万円の増は、3名と1団体からの寄付によるもので、歳出10ページのふるさと応援基金積立金に同額を計上しています。

8ページ。17款1項1目．財政調整基金繰入金799万2,000円の減は、今回の補正予算歳入歳出の調整により基金へ繰戻しを行うことによるものです。繰戻し後の財政調整基金

残高は5億1,090万6,000円となります。

続きまして9ページ。19款5項7目。雑入250万円の増は、平成27年度コミュニティ助成事業助成金の決定により、一般コミュニティ事業助成金の計上によるものです。

続きまして、歳出について説明いたします。10ページ。2款1項6目。目的基金費24万円の増は、歳入の7ページで説明した通りとなっております。8目。企画費104万1,000円の増は、職員の産休・育休代替臨時職員賃金1名分の計上です。11目。諸費251万円の増は、歳入の9ページでご説明しました一般コミュニティ助成事業によるもので、各字・自治会7カ所（本部、津嘉山、山川、兼本ハイツ、第一団地、第二団地、北丘ハイツ）への助成を予定しております。12目。地域づくり推進事業30万円の増は、平和の日推進事業の消耗品費により印刷製本費に流用したことによる消耗品費への補てん20万円と平和フォーラムの開催を今後予定していることからそのポスター及びチラシ印刷製本費10万円の計上です。

続きまして11ページ。2款2項1目。税務総務費133万2,000円の増は、職員の産休・育休代替臨時職員賃金1名分の計上となっております。

12ページ。2款3項1目。戸籍住民基本台帳費246万3,000円の増は、職員の産休・育休代替臨時職員2名分の計上です。

13ページ。6款1項2目。農業総務費104万1,000円の増は、産業振興課の事務補佐を行う臨時職員賃金1名分の計上です。3目。農業振興費5,261万6,000円の減は、歳入の6ページで説明したとおりです。

14ページ。7款1項1目。商工振興費151万7,000円増の賃金120万8,000円は、職員の病休代替臨時職員1名分と琉球かすりの女王謝礼金12万4,000円は、同賃金へ流用したことによる補てん分、企業立地マッチング講師謝礼金2万4,000円、印刷製本費8万7,000円、通信運搬費7万4,000円の増は、津嘉山土地区画整理区域内の地権者等を対象に企業立地マッチング説明会を開催するための計上となっております。

15ページ。8款4項1目。都市計画費138万3,000円の増は、土地区画整理事業特別会計への操出金で、土地区画整理事業特別会計でご説明いたします。

16ページ。10款5項3目。文化財保護費59万2,000円の増は、磁気探査委託料で歳入の6ページでご説明したとおりでございます。以上が議案第35号 平成27年度南風原町一般会計補正予算（第2号）の概要でございます。ご審議のほどよろしく願いいたします。

○議長 宮城清政君 これから質疑に入ります。質疑はありますか。8番 花城清文議員。

○8番 花城清文君 1つだけ聞かせてください。6ページでしょうか、県支出金です。それから、皆さんの概要説明の1ページにもありますが、沖縄振興特別推進交付金8,000万円あまりの減額になっていますね。この説明を聞いたら、環境の杜ふれあい公園整備を

平成27年第2回定例会6月9日

予定していたが、そこに古墓群があるということでその磁気探査をやるためにこの工事が導入できなかったと私は解釈しています。那覇市で今回、一括交付金の明線事業が受けられなくなって、龍柱と言ったでしょうか名称はよく分かりませんが、その事業で市は1億あまりの自己負担で工事を進めています。そういったことで、一括交付金がもしもらえないとなったとき、新たに申請するのか、そういうもらえないということを心配しなくてもいいのか、そこが私は気になります。那覇市でこういう例があったので、どうなのか。こういう心配はしなくていいのかどうか。新たに、ふれあい公園が事業認定を受けてスタートしていくのかどうか含めて答えていただけますか。以上。

○議長 宮城清政君 総務部長。

○総務部長 新垣吉紀君 答えいたします。申し訳ございません。私の説明が誤解を与えたかもしれません。概要説明のなかで14款2款1目。総務費県補助金8,457万7,000円の減ですが、沖縄振興特別推進交付金の地域農業活性化事業が一部県の補助対象事業であることから他の補助事業の対象であるため一括交付金の対象になりません。そのため8,513万9,000円の減です。それが1つです。環境の杜ふれあい周辺の公園整備の磁気探査は、磁気探査支援事業補助金56万2,000円で、別々でございます。申し訳ございません。私の説明が十分ではなかったかと思えます。以上です。

○議長 宮城清政君 8番 花城清文議員。

○8番 花城清文君 安心しました。確認します。公園事業は全く別事業で、今予定している事業計画は、そのとおり実行しますよね。町の持ち分、負担も当然ありますから、そういった点は大丈夫ですね。どうでしょう。

○議長 宮城清政君 総務部長。

○総務部長 新垣吉紀君 議員がおっしゃるとおり、これは別の公園事業の補助事業で行いますので、着実に実施いたします。

○議長 宮城清政君 他に質疑ありませんか。11番 宮城寛諄議員。

○11番 宮城寛諄議員 今の一括交付金減のところですが、別事業があるということで8,400万円あまり総務費が減になっています。それから、別事業ということで県からの75パーセント補助になるのですが、8割補助から75パーセントに減るにしても、そこでは補助が4,700万円ですよね。だいぶ差があるのですけれども、これはどういうことなのかお

聞かせください。

○議長 宮城清政君 産業振興課長。

○産業振興課長 金城郡浩君 お答えいたします。一部、事業費のなかで差額が出ていますのは、直接一括交付金で南風原町がやっていた事業から、県の補助事業を受けるということでキュウリ農家への強化型パイプハウスの設置等があるのですが、JAが直営でやる事業が出てきました。南風原町をとらない補助事業分については減額のかたちを取っているということです。ちなみに、今回の減額につきましてはそういうことで、一括交付金の事業として計上されていたものが地域特定経営支援対策事業という事業に置き換わったことによってここに歳入として入ってきていないかたちになっております。以上です。

○議長 宮城清政君 休憩します。

休憩（午前11時00分）

再開（午前11時03分）

○議長 宮城清政君 再開します。11番 宮城寛諄議員。

○11番 宮城寛諄議員 私が聞いているのは、この一括交付金8,400万円を使ってやりたいという事業があったわけですね。例えば近くに水があるとかどうこう条件があったにしてもそういう事業があったのだけれども、実はその事業には県からの補助金があるからそれをもらってやりましょうといったら4,700万円へと額が小さくなったわけです。額が小さくなったのですから、事業が小さくなったのですかと聞いているのです。先ほど休憩のなかで説明していたのですけれども、県の事業はいろいろ条件があってこれしかできませんというのであれば、できないその差額部分は一括交付金をもってきたらいいじゃないですか。私はそう思うのです。県の補助金でできない部分があるのですから、8,400万円から4,700万円に減っているわけですから、なぜ事業が減ったのか。県の補助ではできない部分がある、条件があってクリアできない部分がある、だから小さくなったと、そのように僕は聞こえたものだから、実際にはどうなのか。同じような金額の事業を町は計画していたわけですから、それができるべきではないかと思うところから質問しているわけです。どうですか。

○議長 宮城清政君 産業振興課長。

○産業振興課長 金城郡浩君 お答えします。今回、計画のなかではスターフルーツ10戸の農家で1ヘクタールの面積、8,186万4,000円の計画を計上していました。先ほど県の事業云々をいただけて直営の部分を省いて、補正後はスターフルーツ2戸の農家で0.2ヘク

平成27年第2回定例会6月9日

タール、補助額の補正後の額が1,637万2,000円の事業費の中に収まりました。この2戸については、一括交付金で計上してやる分について、県の事業としては農振農用地内ではしか該当しないのですけれども、この2戸については一般的には調整区域、白地の部分ということで、県の事業に該当しない農家さんというものを拾って今回事業としてやっています。そのことによる減額になっているのですけれども、詳細については資料を準備して委員会で再度説明したいと思います。

○議長 宮城清政君 休憩します。

休憩（午前11時06分）

再開（午前11時07分）

○議長 宮城清政君 再開します。経済建設部長。

○経済建設部長 真境名元彦君 補足して説明いたします。当初の予算につきましては、一括交付金を活用するというございませけれども、産地を受けたことによって県の事業が取れることから今回減額になっております。そのうち2戸が、県のこの事業に該当しませんでしたので、その2戸分が一括交付金を活用していることになっております。それから、もともとスターフルーツは10戸で予定をしておりましたけれども、その後の調べにおいて2戸減りまして実績的に8戸になったことも1つの要因ですね。それから、今回は、県が事業として入れたのがスターフルーツは3戸となっております、10戸でなくて2戸減額となった8戸のうち、県事業で3戸、この県事業に該当しない2戸が南風原町の一括交付金で、計5戸、残り3戸については県の事業として平成28年度を予定しております。以上でございます。

○議長 宮城清政君 他に質疑ありませんか。13番 玉城 勇議員。

○13番 玉城 勇君 確認して欲しいことがあるのですけれども、キュウリの強化型パイプハウスですが、以前はヘチマで同じように強化型パイプハウスを設置しました。当初の予定では台風にも大丈夫だと、35メートルでしたかその台風で大丈夫だと言われたのですけれども、業者から台風ときはビニールを外してくれという話があったそうです。この予定している強化型パイプハウスの強度は、沖縄の台風で大丈夫なのか。要するに、キュウリでもヘチマでも夏場に作る想定でありますので、台風にもつのかどうか。ビニールを外さなくてもいいのかどうか、もし分かるのであれば答弁していただいて、分からなければ委員会までに調べて欲しい。お願いします。

○議長 宮城清政君 産業振興課長。

○産業振興課長 金城郡浩君 先ほどの質問なのですけれども、強化型ということと、それから県・国の事業、市町村の一括交付金という事業のなかで差別化がされております。まず台風の強度についてもつかという話なのですけれども、沖縄に接近する台風の勢力が直接近づくまでどれぐらいの勢力を維持しているのかが分からないところが1点ございます。50メートル以上の台風を基準にして先ほど質問されているかと思うのですけれども、35メートル以下であれば強化型パイプハウスについてはもつでしょうと言っているのは、国・県の事業のなかで採算性を重視して事業採択されている事業があるのですが、一般的に50メートル以下という基準では町の一括交付金は採択できない。50メートルという基準を使うのであれば、国・県の事業で事業実施しなければならないということで、国・県の実施できない地域について強度が35メートル程度の部分で実施するというのが強化型パイプハウスの事業になっています。その35メートル等についてパイプがもつかという話をしたときに、万が一50メートル以上の台風になったり、それ以上の台風になったときに、パイプハウスを潰してしまうので、その万が一の部分を含めて風通しのため上のビニールを取ってその強度に準じたかたちと言いますか台風に備えたかたちにしてくださいという指導であったと思います。今回のキュウリのパイプハウスについては採算性の問題で、県の基準のなかで50メートルまで採算が取れるということですので、町のやっている事業よりも強度の強い角鋼パイプハウスになると伺っています。

○議長 宮城清政君 他に質疑ありませんか。

(「進行」の声あり)

○議長 宮城清政君 質疑なしと認め、これをもって質疑を終わります。ただいま議題となっております議案第35号 平成27年度南風原町一般会計補正予算(第2号)については、総務民生常任委員会に付託します。